

くにたちはたけんぼ 施設のユニバーサルデザイン化についての報告書

事業ID	2020561226
事業名	養育困難家庭の親も子どもも支える仕組みづくり
団体名	特定非営利活動法人くにたち農園の会 理事長 小野淳
報告者	菅井まゆみ
住所・連絡先	東京都国立市谷保5119 042-505-7200 Info.tsuchinokohiroba@gmail.com

1. 目的

当法人では、「農ある都市」「農が身近にある暮らし」を実現させることを目的とし、子育てしたいまちづくりに貢献、誰もが意欲をもって育ちあう保育教育環境、地域の子育てコミュニティをつくることで「みんなが、みんなの子どもを育てる社会」を目指しています。

地域資源を活かしながら、更に多様な子どもたちも参加できる環境づくりを目指して、トイレの多機能化と通路の改修を計画しました。

2. 具体的な実施内容

◆トイレの多機能化

以前設置していたエコトイレから車いす対応トイレへと改修工事を行いました。当初は多機能トイレを設置するだけにしていましたが、車が進入できないことがわかり、直接施工することにしました。

電気も水道も通っていない地域で、太陽光や雨水を利用し、またオール木材のあたたかい雰囲気トイレができました。



トイレドア、
取っ手そばに
日本財団ブ
レート設置



屋根には太陽光発電用機材

緑色のタンクは、左は手洗い用
右はトイレ流し用の雨水タンク

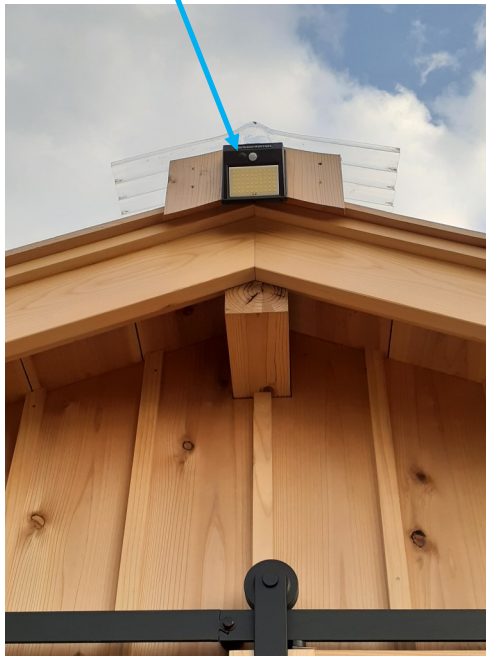


オールジェンダー
プレート

※明り取り用の天窓とライト（奥に2つ）



※入口用ライト



子どもたちが怖くないように、昼間は天窓から、夕方暗くなったらセンサーでライトがつくようになり、明るいトイレになりました。



ペーパーホルダーも木で。取り替えやすい工夫もされているのですが、子どもたちの手が届かないことが判明し、手前にもう一つホルダーを付けてもらいました。



今までは外にあった手洗いも内側に設置されました。
車いすの回転も大丈夫。
使用時には石鹸、ペーパータオルを置いて。

◆通路改修

はたけんぼは、かつては田んぼであったところが畑になった場所に位置しています。ですから、土地に段差があり、水はけもよくはありません。その場所を使いやすいようになるべく段差をなくし、車いすも通れるようにし、トイレへの動線も確保したい。そう考えて改修を行いました。



入口正面。右手の側が高く左に向けて低くなっている。

水はけをよくする工事やなるべく平面になるように。

トイレ前にスロープをつくり、車いすやベビーカー等も入れるようにした。

平らにするための地道な作業



トイレ前通路。農地の為コンクリートをベタ打ちできないので大谷石を使って車いす通路を作り、スロープも大谷石にモルタルを塗って。石と石の間にはグランドカバーになる植物を植えます。

日本財団助成プレート

安全に通れる通路ができたおかげで、自転車やベビーカー利用の参加者の駐輪もできるようになりました。